

## ホームステイ事業研修会 報告

日 時：令和4年10月13日（木）14：00～15：30

場 所：埼玉県国際交流協会内 研修講座室

参加者：

- ・ホームステイボランティア登録者 14名
- ・国際交流基金 日本語国際センター職員 2名

内 容：

時 間	内 容
14:00 ～	主催者挨拶
～ 14:35	<ホームステイ事業概要説明> 事業実施方法、受け入れの際の注意事項 等 <日本語国際センターより> 日本語国際センター及び ワンナイトステイ事業のホームステイについて
14:35 ～ 15:00	<体験談発表> F.Tさん Tさんご夫妻
15:00 ～ 15:10	<アンケート結果紹介> ・今年度実施のホームビジット等のアンケートのご意見 の紹介（GGS①、センター7月、8月）
15:10 ～ 15:30	<ホストファミリー交流> フリートーク ・ゲストとの過ごし方、食事について ・コロナ禍における交流について ・その他の心配事等
15:30 ～ 15:40	<その他> 質疑応答 / アンケート記入 / 今後の予定 等

～ホストファミリーからの御意見等～  
(アンケートやメールなどから)

- ・ 在住の市がワンナイトステイ事業に参加していないのは、残念に思った。  
(所沢市在住の方より)
  - ・ ハラルの方の食事が心配だったが、野菜のてんぷらを塩で食べるのがいいと教えていただいた。
  - ・ ゲストの布団がなく受け入れを躊躇していたが、空いている二段ベッドでも対応可能と聞き、少し安心した。
  - ・ 受け入れに消極的な家族をどう説得するのか、助言をいただくことができた。
  - ・ 以前に受け入れた留学生から、アルバイトの際の保証人になってほしいと頼まれて困ったことがある。対応の仕方について相談したい。  
→ (事務局から)  
保証人には、いかなるケースにもお断りをしていただくのがよい。  
大学で相談する、もしくは民間の保証会社をお願いをするしかない。
  - ・ ホームステイ中に起きた病気や怪我等への対処方法について  
協会として、保険等をかけているのか。かけてほしい。
- ・ ありのままの日本人の生活を経験してもらうように心がけている。自宅で過ごし、出かけても近所のお寺やスーパーへ行くなどしている。(お墓を見せてあげるだけでも興奮されている方もいた。)
- ・ 留学生は普段の生活の中で知りたかった事や困っている事が意外に多く、一緒にスーパーやドラッグストアなどに行き、ちょっとした常備薬やお菓子などを教えてあげるととても喜ばれる。缶詰やレトルト食品などのリーズナブルでおいしいものも気に入ってもらえる。
  - ・ 日本には四季があるので、旬の食べ物や調理方法を教えてあげることもおすすめ。
  - ・ コロナ禍でリスクを避けるために人の多い観光地や食事を出かけなくても、関係を深めることはできる。困っている事や知りたい事を聞き、少しだけ「助ける」ことで深いつながりが生まれると感じている。
- ・ コロナ以前のホームステイとこれからのホームステイについて  
これまでのホームステイ受け入れと変わる点は、コロナが終息したわけではないので、基本的な感染対策(ワクチン接種、会話時マスク着用等)を守ること。特に、食事時には、換気、シールド設置を施し、飲酒は適度に、大声は出さない。  
これまでと変わらない点は、ゲストの外国人の要望を事前に把握し、感染予防の観点を踏まえ、可能な限り要望に沿った対応により楽しい交流を図ること。ホスト、ゲスト、お互いにとり刺激や気づきの場として高め合っていきたいと考えている。